人間文化創成科学研究科（博士前期課程）担当教員一覧

*印の教員は、平成29年3月31日付けで定年退職予定または、平成28年度研究指導は行わない者。

なお、平成28年3月31日付けで定年退職予定の教員は記載されていない。

<記載事項>

(所属専攻)		☎ 03-5978- (下記☎参照)	
(所属コース)			
担当教員	主な授業科目	研究テーマまたは研究分野	
(職名) : (氏名) ☎ 03-5978- (連絡先番号)	(博士前期課程における主な授業科目名)	(研究テーマ、研究分野) (連絡先メールアドレス)	
平成27年5月1日現在			
☎ 03-5978- (下記☎参照)			
ジェンダー社会科学専攻 Gender and Social Sciences			
生活政策学コース Social and Family Policies			
担当教員	授業科目	研究テーマまたは研究分野	
Position Name			
教授 : 石井クンツ昌子 Professor : Ishii-Kuntz Masako ☎(5794)	家族関係論	【家族社会学・家族関係学】ジェンダー視点から家族関係、家族構造、家族役割を社会・経済的变化との関連でとらえる。国際比較を通して現代日本の家族の変容を考察する。家庭内性別役割分担を主な研究テーマとしている。 e-mail: ishii.kuntz.masako@ocha.ac.jp	
教授 : 藤崎 宏子 Professor : FUJISAKI Hiroko ☎(5986)	生活福祉論	【福祉社会学・家族社会学】高齢期のライフスタイル、及び介護問題に関する社会学的研究。いずれのテーマについても福祉社会学・家族社会学をベースとして、社会的ネットワーク論やライフコース論を援用しながら実証的に研究している。 e-mail: fujisaki.hiroko@ocha.ac.jp	
教授 : 杉田 孝夫 Professor : SUGITA Takao * ☎(5791)	生活政治論	【西洋政治思想史】主たる研究テーマは、ドイツ啓蒙・ドイツ観念論を中心とするドイツ政治思想史。関連して「家族と市民社会」「公と私とジェンダー」の観点から英独仏を中心とする近代西洋政治思想史の再検討をおこなっている。 e-mail: sugita.takao@ocha.ac.jp	
教授 : 永瀬 伸子 Professor : NAGASE Nobuko ☎(5786)	労働と社会政策	【労働経済学】就業行動、家庭内生産活動など、仕事をめぐる選択行動を経済理論を用いて分析の枠組みをつくり、先験的な予想を立て、統計等を用い実証的に分析することを専門とする。主な領域は「仕事」の選択行動であるが、出産、教育、結婚等の選択もこの枠組みで扱うこともできる。質的研究も行う。 e-mail: nagase.nobuko@ocha.ac.jp	
教授 : 小谷 眞男 Professor : KOTANI Masao ☎(5787)	生活法社会学、トランス・サイエンス論	【比較法史】<生活>の比較法社会学・比較法文化史。特にイタリアを専門的フィールドとする。 e-mail: kotani.masao@ocha.ac.jp	
准教授 : 大森 正博 Associate Professor : OMORI Masahiro ☎(5987)	消費者問題論	【公共経済学・医療経済学】医療・介護制度を資源配分、所得分配の観点から分析し、望ましい医療・介護制度のあり方を考える。医療・介護制度の国際比較も行う。 e-mail: omori.masahiro@ocha.ac.jp	
准教授 : 斎藤 悦子 Associate Professor : SAITO Etsuko ☎(5788)	生活経済論	【生活経済学、生活経営学】家計、生活時間をジェンダーの視点から分析する。特に雇用労働者世帯を扱い、企業と生活者の関係性に注目している。現在は、生活者が「企業の社会的責任」にいかに関係していくかを検討している。 e-mail: saito.etsuko@ocha.ac.jp	
准教授 : デ アウカンタラ マルセロ Associate Professor : DE ALCANTARA Marcelo ☎(2084)	法女性論	【家族法・比較法】親子法について、特に生殖補助医療に関連して生じた諸問題に関する研究を行っている。日本の家族法と諸外国の家族法との比較研究も行っている。家族法と国際化、家族法とジェンダーの問題にも関心がある。 e-mail: marcelo.de.alcantara@ocha.ac.jp	
地理環境学コース Geography and Environmental Studies			
教授 : 熊谷 圭知 Professor : KUMAGAI Keichi ☎(5191)	社会環境学	【社会文化地理学、オセアニア地域研究】最近の研究関心は、1) パプアニューギニア地域研究、のほか、2) 地域研究と開発実践の関係性、3) ジェンダーと開発をローカル視点から捉える、ことです。 e-mail: kumagai.keichi@ocha.ac.jp	
教授 : 水野 勲 Professor : MIZUNO Isao ☎(5188)	地域経済論	【数理地理学、経済地理学】地域不均衡の累積過程のモデリング、地域統計の分析、地因化を通じて、経済地理的事象の説明を行っている。フェミニスト地理学における量的研究と質的研究の議論にも関心がある。 e-mail: mizuno.isao@ocha.ac.jp	
准教授 : 宮澤 仁 Associate Professor : MIYAZAWA Hitoshi ☎(5195)	地理情報論	【都市地理学、福祉地理学、地理情報システム (GIS)】人口減少・少子高齢化に伴う都市・地域の問題を地理情報システムと地域分析手法を用いて分析し、生活・福祉の視点から課題解決に取り組む。 e-mail: miyazawa.hitoshi@ocha.ac.jp	
准教授 : 長谷川 直子 Associate Professor : HASEGAWA Naoko ☎(5196)	自然環境論	【自然地理学・陸水学】気候変動（とくに温暖化）が湖に与える影響の解明。湖へ流入する水の挙動を観測により解明する。環境問題や地理的視点の一般社会への普及の検討。 e-mail: hasegawa.naoko@ocha.ac.jp	
開発ジェンダー論コース Gender and Development Studies			
教授 : 棚橋 訓 Professor : TANAHASHI Satoshi ☎(5251)	ジェンダー文化論	【文化人類学、ジェンダー文化論】文化人類学の視点から、近現代の異文化混雑の過程に生じるジェンダー秩序の再編に関する研究、社会変動とセクシュアリティ変容に関する研究、「第三のジェンダー」に関する研究を行っている。主なフィールドはオセアニアと日本。 e-mail: tanahashi.satoshi@ocha.ac.jp	
教授 : 小林 誠 Professor : KOBAYASHI Makoto ☎(5254)	グローバル政治経済論	【国際政治学、国際関係学】グローバル化による国際システムの変容を理論的・実証的に研究。特に、非国家アクターが台頭し、地球市民社会が形成され始めて、中央・周辺関係が変化する一方で、新たな暴力の形態が生まれていることに注目。 e-mail: kobayashi.makoto@ocha.ac.jp	
教授 : 足立 眞理子 Professor : ADACHI Mariko ☎(5341)	開発経済学	【経済理論・国際経済学・ジェンダー分析】グローバル資本の最新局面の動向を再生産の視点から分析すること、及び、合理的経済人仮説に対する代替理論の研究。 e-mail: adachi.mariko@ocha.ac.jp	
准教授 : 荒木 美奈子 Associate Professor : ARAKI Minako ☎(5190)	開発研究実践論	【開発研究、アフリカ地域研究】研究関心は、地域研究に基づく開発実践・研究、内発的發展、参加型開発、グローバリゼーションによる地域社会の変容などである。タンザニアを主なフィールドとしている。 e-mail: araki.minako@ocha.ac.jp	
准教授 : 申 琪榮 Associate Professor : Shin Ki-young ☎(5843)	フェミニズム理論の争点、ジェンダー-立法過程論	【ジェンダーと政治、日韓比較政治、フェミニズム理論】これまでの主な研究は家族法改正を目指す女性運動の日韓比較、ジェンダー・クォーター、ジェンダー主流化政策、Transnational Feminismなど。 e-mail: shin.kiyoung@ocha.ac.jp	